

SEL-E から SSEL-CS への置換えの注意点

- SEL-E の生産中止にあたり、

SEL-E (コントローラ) は SSEL-CS (コントローラ) への置換えとなります。

(生産中止)

SEL-E コントローラ



(代替機種)

SSEL-CS

この置換えにあたりましては下記の注意点をご確認いただきたくお願いいたします。

1. アクチュエータとの接続について

SEL-E に接続していたアクチュエータは SSEL には 接続出来ない 為、置換えを御願ひ致します。

また、コントローラ・メカ間ケーブルも流用出来ない為、置換時に手配を御願ひします。

なお、アクチュエータの置換えに関しては別資料(***)を御確認下さい。

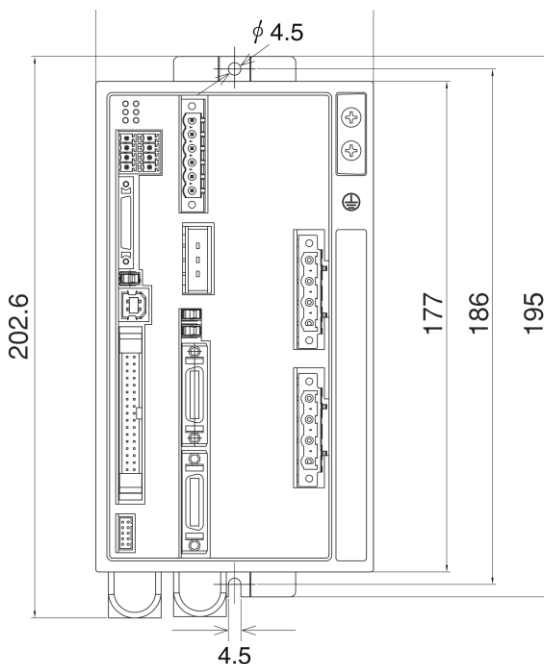
2. 外形寸法・取付寸法

外形寸法は異なります。

下記外形寸法図を御確認下さい。

■ SSEL-CS_アブソリュート対応タイプ

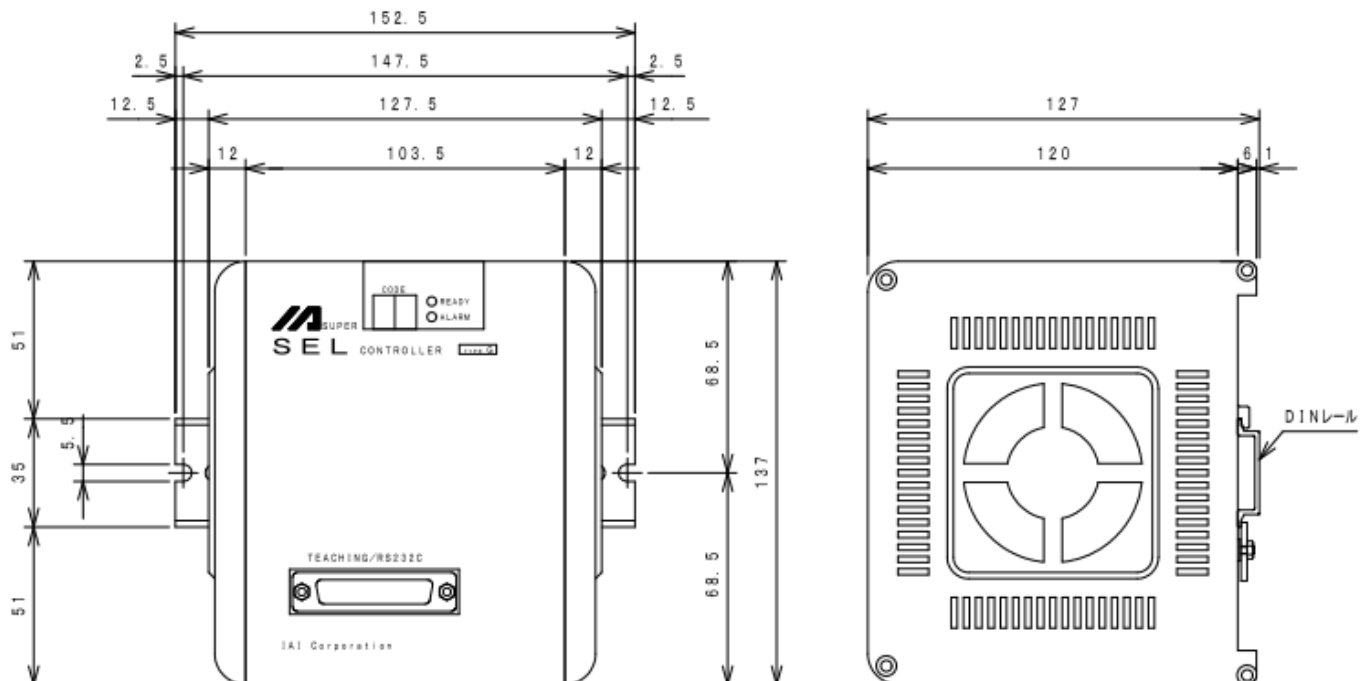
1 軸仕様 (ネジ固定式)



■SEL-E タイプ(1 軸仕様のみ)

AC60W/100W

DC20W~100W

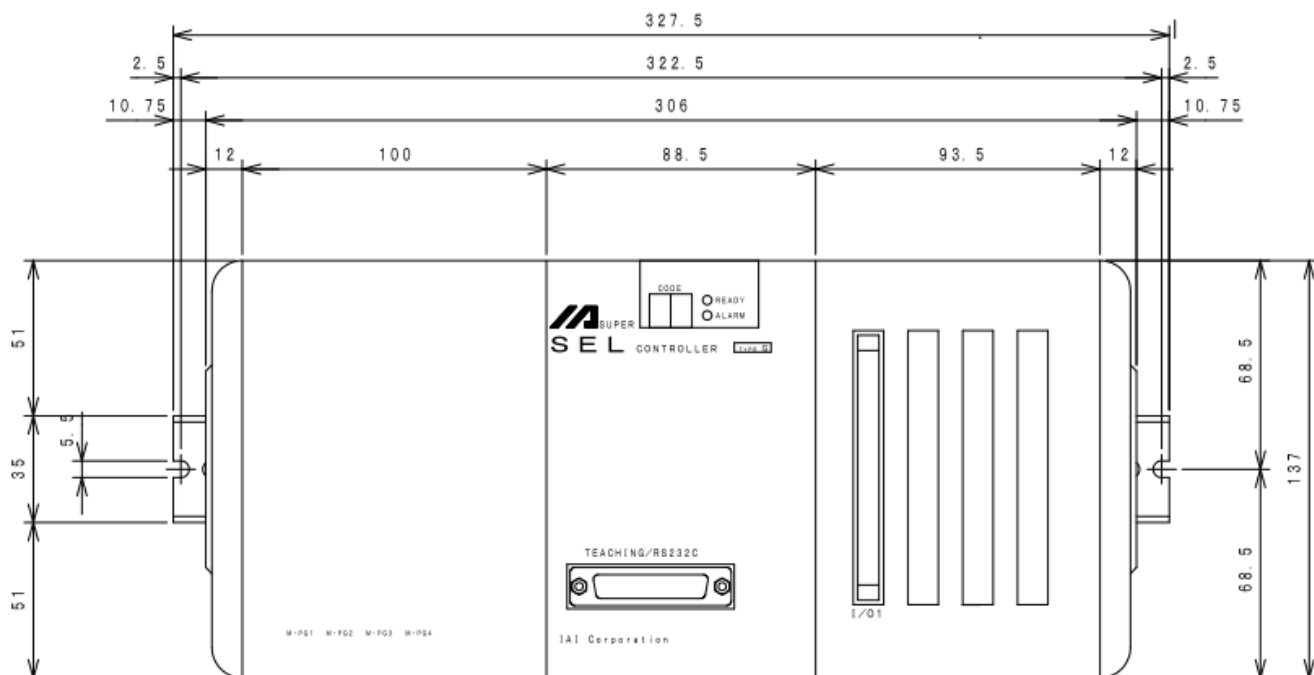


■SEL-E タイプ(1 軸仕様のみ)

AC200W/400W

DC200W

※高さ方向は上記と同寸(126mm)



3. 一般仕様

項目	SSEL-CS	SEL-E
電源電圧	AC100V～115V±10%(400W 未満) AC200V～230V±10%	AC100V±10% AC180V～240V
電源容量	2448W(400 アクチュエータ接続時)	約 600W(400W アクチュエータ接続時)
使用周囲温度	0～40℃	0～40℃
使用周囲湿度	湿度 85%RH 以下(結露無き事)	湿度 85%RH 以下(結露無き事)
プログラム※1	登録可能数:128 プログラム※1 合計ステップ数:9999※1 並列可能プログラム数:8	登録可能数:64 プログラム 合計ステップ数:3000 並列可能プログラム数:16
ポジション数※1	20000 点	2000 点
PIO 点数(標準)	入力 24 点/出力 8 点	入力 24 点/出力 24 点
PIO 点数(拡張付)※2	最大入力 256 点/出力 256 点	最大入力 288 点/出力 288 点
重量	1.4kg	最大 3kg(400W 接続時)
記憶装置	CMOS RAM バッテリバックアップ	フラッシュ ROM

※1: コントローラアプリ部バージョン V0.15 以降

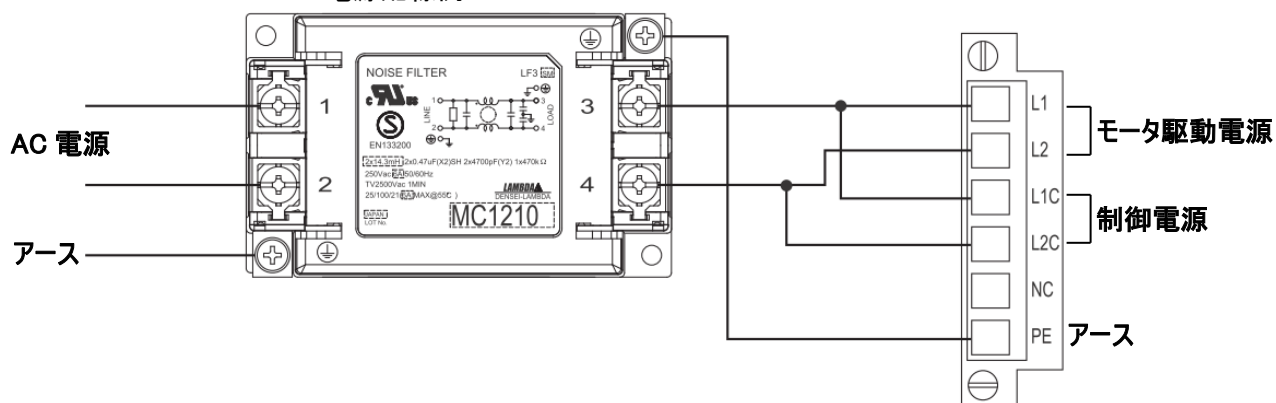
※2: 拡張 IO ユニット増設により入出力点数を追加した場合

4. 電源・非常停止配線

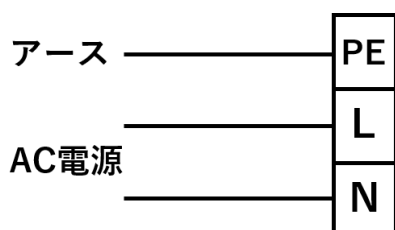
(1)電源配線について

電源入力回路をそのまま使用することが出来ない為、回路を変更していただく必要があります。SSEL は安全カテゴリに対応出来るよう、制御電源、モータ駆動電源が分かれています。なお、新たにノイズフィルタを設置いただく様御願致します。

■ SSEL 電源配線例



■ SEL-E 電源配線例



(2)非常停止回路について

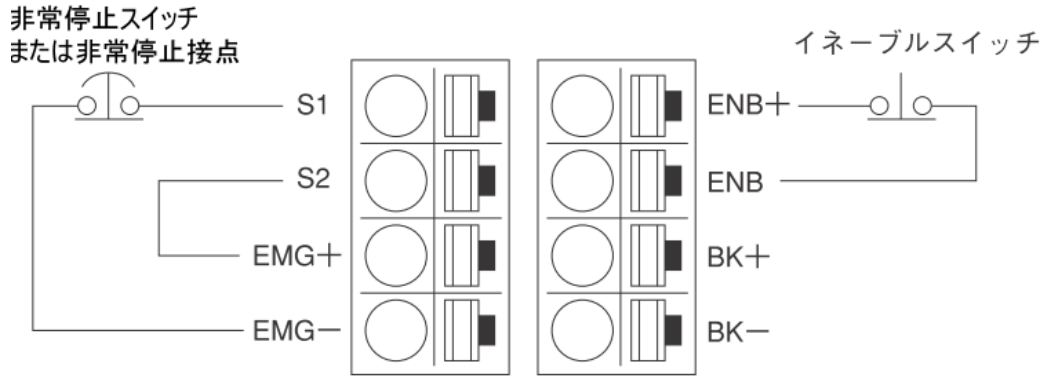
非常停止回路は新規に構築していただく必要があります。

SEL-E の非常停止は入力信号を使用していましたが、SSEL はシステム IO に変更しています。

したがって、非常停止を IO ケーブルに入力して使用することが出来ません。

非常停止スイッチまたは非常停止リレーを御用意下さい。

■SSEL 非常停止配線例



■SEL-E 非常停止配線例

標準付属I/O

ピンNo.	区分	ポートNo.	機能
1A	P24		—
1B		000	外部起動入力
2A		001	汎用入力
2B		002	非常停止 b接点入力
3A		003	システム予約
3B		004	..

5. I/O 配線

入出力信号の互換性はありません。

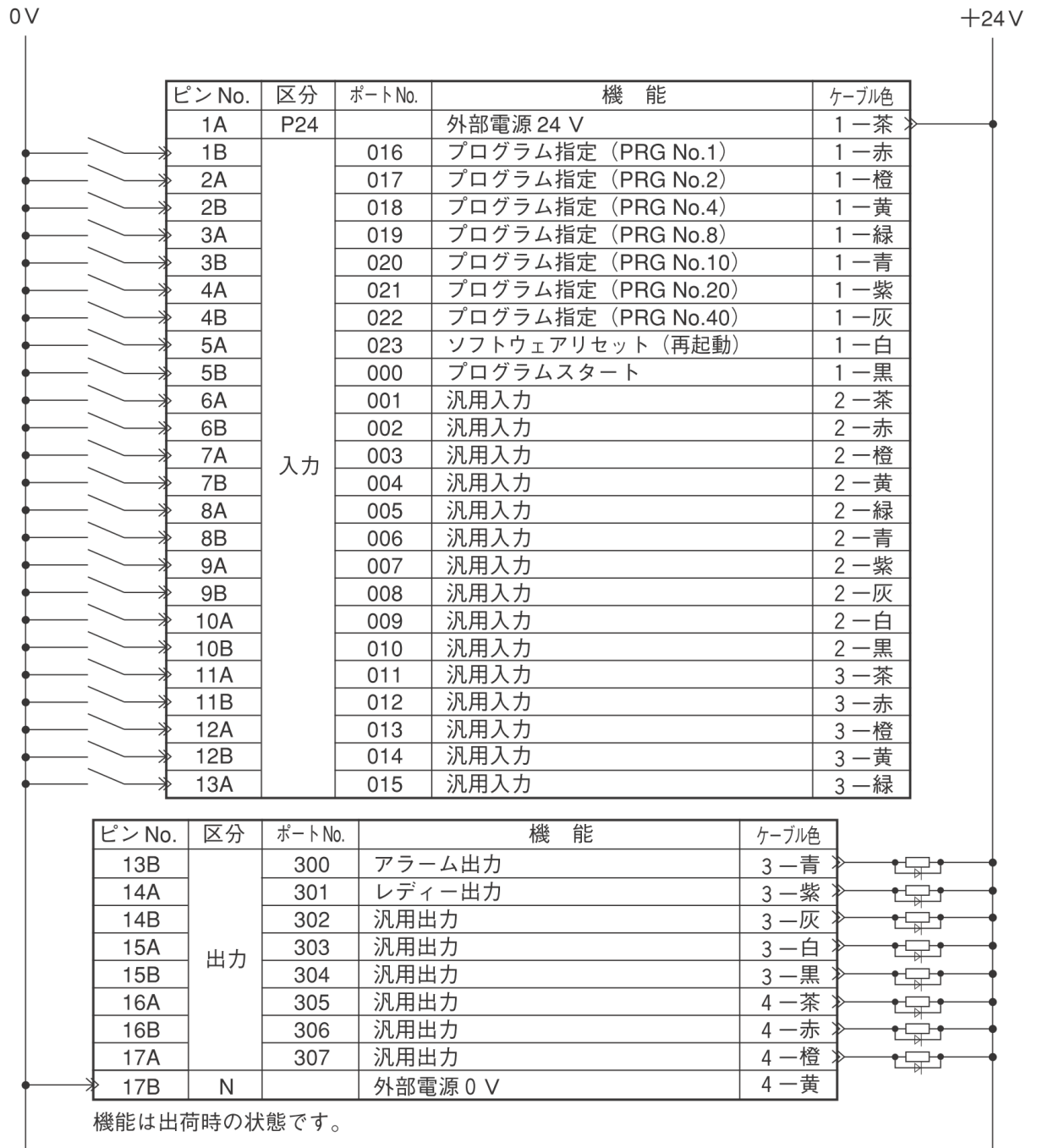
信号配置(ピンアサイン)も異なる為、信号配置をご確認の上、配線作業を実施してください。

なお、SSEL の IO 信号はパラメータで任意に割付が可能です。

下記は出荷時の設定になります。

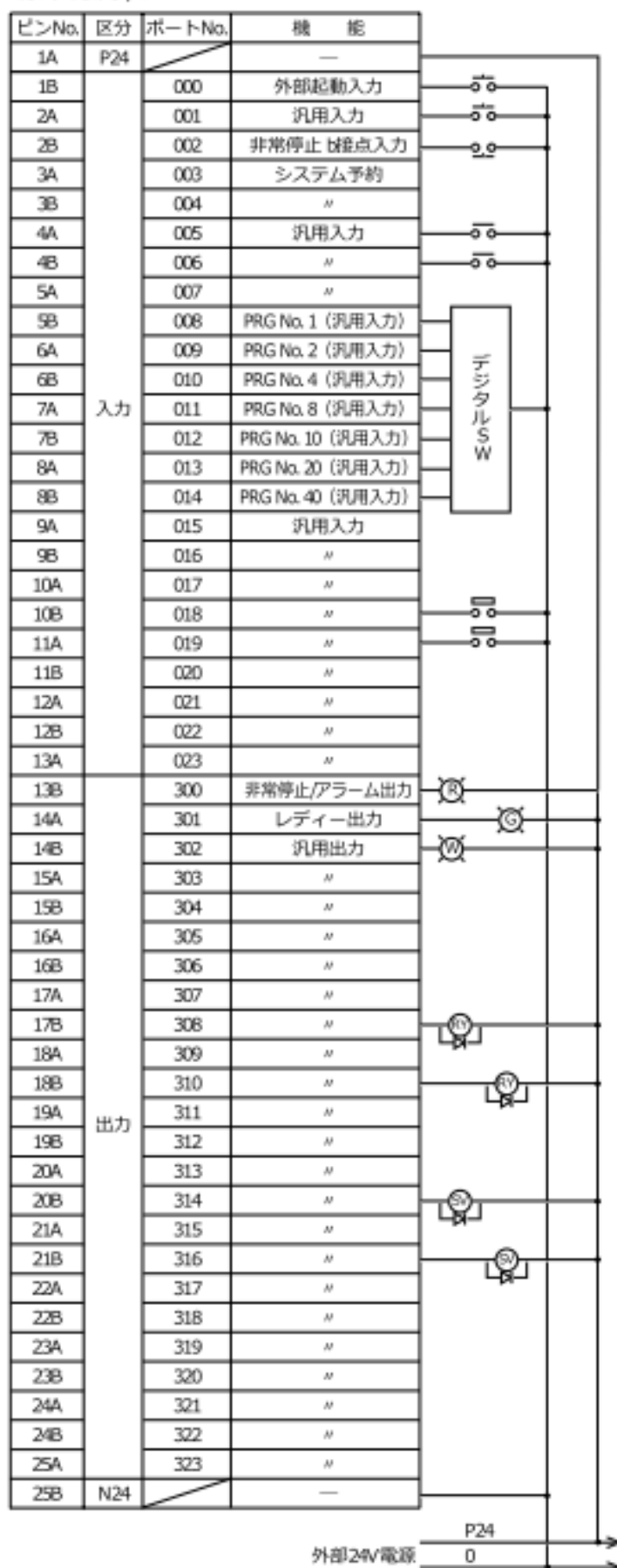
■SSEL 入出力信号表

(1) NPN 仕様 (プログラムモード)



■SEL-E 入出力信号表

標準付属I/O



6. シリアル通信による制御

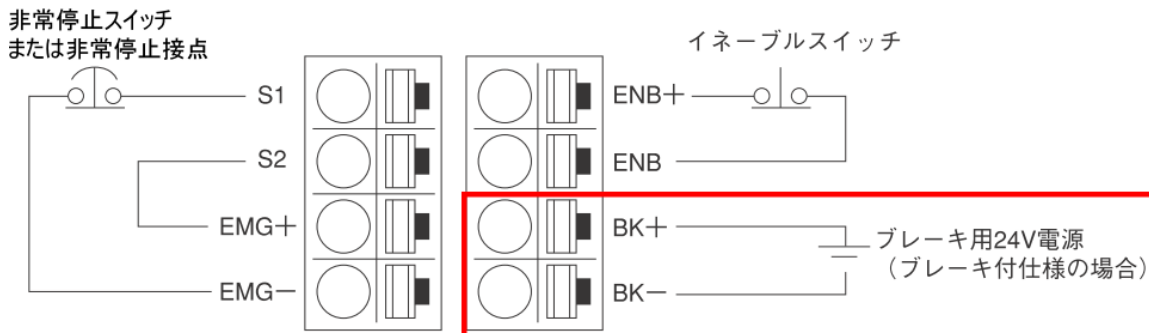
シリアル通信仕様の互換性はありません。

通信仕様が異なるため、シリアル通信にて、制御されている場合は、上位 PLC や PC のプログラムの変更が必要となります。

7. ブレーキ付アクチュエータを接続する場合の注意点

SEL-E にブレーキ付アクチュエータを接続する場合、ブレーキ解除ボックスが必要でしたが、SSEL では接続アクチュエータが NS タイプ以外不要です。

但し、システム IO コネクタのブレーキ電源端子(BK±間)に DC24V を印加いただく必要があります。



8. 各種内部データ

(1) パラメータ

SEL-E と SSEL ではパラメータ構造が異なる為、パラメータをそのまま転送する事はできません。必要に応じて、出荷時の設定から変更を実施して下さい。

(2) プログラムデータ

SEL-E で使用していたプログラムを SSEL に転送して使用することは可能です。パソコンソフトを使用して転送して下さい。

なお、IO が異なる箇所がある為、必要に応じプログラムを修正して下さい。

(3) ポジションデータ

SEL-E で使用していたポジションデータを SSEL に転送して使用することは可能です。パソコンソフトを使用して転送して下さい。

9. データ入カツール (ティーチングボックス・パソコン対応ソフト)

SEL-E 用ティーチングボックス(NE-T-SS, T-SS)は SSEL には使えません。

(1) SSEL に接続可能なティーチングボックス

- ・ TB-01(推奨機種)
- ・ SEL-T

(2) パソコン対応ソフトについて

XSEL 用パソコン対応ソフトのバージョン V6.00.00.00~V7.07.12.00 であれば SEL-E、SSEL 共に接続可能です。

なお、対応バージョンや操作方法等、御不明な点に関しては御問合せ下さい。

10. お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら下記までご連絡の程お願いいたします。

アイエイアイお客様センター“**エイト**”

安心とは**24時間対応**のことです



〈受付時間〉 月～金 24時間(月 7:00AM～金 翌朝7:00AM)
土、日、祝日 8:00AM～5:00PM (年末年始を除く)

(* 上記フリーコールがつかない場合は、こちらをご利用ください (通話料無料))
 TEL.0120-119-480 FAX.0120-119-486

以上、宜しく願い申し上げます。